

平和をめざす朗読集団 国境なき朗読者たち が贈る

〈朗読劇〉 チャリティ公演

The Message from Gaza **ガザ** 希望のメッセージ



そして二度と離れはしない

ムスタファーよ、
ぼくはガザに残る

2025年 12月 17(水), 18(木), 19(金)

新大久保 スペース Do

予約・お問合せ 080-5314-1539 (つくい) tsubamegekidan2025@gmail.com (つばめ劇団)

朗読集団 国境なき朗読者たち が贈る〈朗読劇〉
The Message from Gaza **ガザ** 希望のメッセージ



〈来場者の方々の感想から〉 ●力強い声に、言葉に、からだは何度も震えました… ●文学作品を読んだあとのように、深く心に染み入りました… ●緊迫した臨場感。生の声を聴いて、想像力が身体の中を駆け廻りました… ●個人の「声」には力があります。事実ではなく、真実を伝える力が… ●パレスチナで亡くなった方の魂が舞い降りたようでした… ●抑圧に抵抗すること、敗北の中でそれでも人間であること、つながりの大切さを朗読からひしひしと感じました…

2023 年 10 月 7 日の、ガザのパレスチナ人戦闘員の奇襲攻撃を受けて始まったイスラエルによるガザ攻撃は、2 年以上たつ今なお続き、ガザは地平線まで荒涼たる瓦礫の海と化しました。▶ガザに対する大規模軍事攻撃は、これが初めてではありません。17 年前の 2008 年 12 月、ガザ地区全土に対し突如、イスラエル軍による一斉攻撃が始まりました。完全封鎖され逃げ場のない 150 万の住民たちの頭上に、23 日間にわたりミサイルや砲弾の雨が降り注ぎました。世界がクリスマスの余韻に浸り新年を祝っていたそのとき、ガザの人々は一方的な殺戮と破壊にさらされていたのでした。朗読劇「The Message from Gaza ガザ 希望のメッセージ」は、この出来事に対する応答として 2009 年に誕生しました。▶平和をめざす朗読集団「国境なき朗読者たち」は結成以来

京都を中心に広島、東京、大阪、三重、神戸などでこの朗読劇の上演を重ね、ガザの人々の声を届けてまいりました。このたび、人間として、役者として、ガザに応答したいと切に願う俳優の皆さんとともに、4 月の東京公演に続き、12 月の東京で再演の運びとなりました（収益は UNRWA に寄付の予定です）。▶いくたび破壊と殺戮に見舞われようと、生を愛し、なんとしても人間の側に踏みとどまり続けようとするガザの人々。朗読というアートを通して、ガザと私たちを「想像力」によって架橋します。肉声を通して語られるガザからの声、ガザへの声に触れてください。そして、考えてください。「希望」とは何か、どこにあるのかを。

「ガザ 希望のメッセージ」脚本・演出 岡 真理

福地 涼
Ryo Fukuchi

斉藤とも子
Tomoko Saito

金子 森
Mori Kaneko

大関 愛
Ai Ohzeki

岡 薫
Kaoru Oka

小西ひろ
Hiro Konishi

マサムネ葵
Aoi Masamune

Z R
ZR

ピアノ 田村喜久子 Kikuko Tamura

脚本・演出 岡 真理 Mari Oka

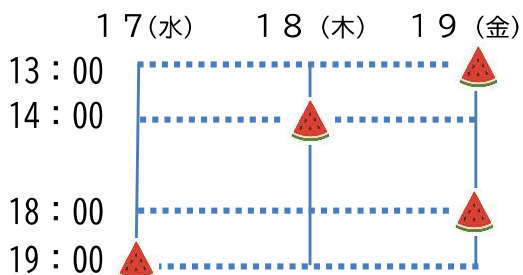
〔制作〕 安藤栄里子

〔制作補佐〕 津久井淑子 李 栄

2025 年 12 月 17 日[水]-19 日[金]



Space Do



※ 日によって開演時刻が異なります。
 ※ 上演時間は、およそ 90 分です。
 ※ 受付開始・開場は、開演の 45 分前です。
 ※ ご予約の方は、開演 15 分前までに受付をお済ませください。

料金：一般 2,300 円 (予約) 2,800 円 (当日)
 学生 1,800 円 (一律)

予約・お問合せ 080-5314-1539 (つくい)

tsubamegekidan2025@gmail.com (つばめ劇団)

※ ご予約は、電話 または メールで。
 ※ 予約なくご来場の場合、満員の際は入場できません。
 ※ 車椅子で来場される方は、予約の際、その旨をお伝えください。



新大久保 スペースDo

東京都新宿区百人町 2-8-9 管楽器専門店ダク地下
 山手線 新大久保駅から徒歩 5 分